

# ありがとう！ 多くの感動を



大池選手(提供:アフロ)

4年に一度開催されるスポーツの祭典「オリンピック」[パラリンピック]。1964年以來の開催となった東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会は、新型コロナウイルスの影響で、1年延期に。そして今年の7月23日、五輪の開会式は無観客で幕を開けました。

今大会では、島田市出身の選手が大活躍を見せてくれました。パラリンピックでは、藤本怜央選手(鶴網出身)が車いすバスケットボール男子で銀メダルを獲得。五輪では、大池水杜選手(阿知ヶ谷出身)が、BMX フリースタイル・パーク女子で、7位に入賞しました。

輝かしい舞台における2人の活躍は、市民の心に大きな感動を届けてくれました。

## 島田市ゆかりの選手が世界で活躍

市では6月から7月の期間中、シンガポール卓球ナショナルチーム(写真右)と、モンゴルボクシングナショナルチーム(写真左)の事前合宿を受け入れました。選手団はPCR検査を毎日行い、一般市民と接することがないように、移動を宿泊場所と練習会場に限定するなど、感染防止対策を徹底的に行いました。

五輪では、シンガポールのユ・モンユ選手(卓球女子シングルス・4位入賞)が、日本の伊藤美誠選手と3位決定戦で競うなど、熱い戦いを見せてくれました。

